

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立ふくやま産業交流館		
所在地	福山市御幸町上岩成正戸476-5		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	大展示室(4室), 小展示室(2室), 研修室(1室), 会議室等(6室), 駐車場(876台)等		
指定管理者	4期目	H28.4.1~H33.3.31	株式会社オオケン
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	株式会社オオケン
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	福山商工会議所
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	福山商工会議所

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
利用状況	4期	32	30.5%	—	—
		31	27.5%	—	—
		30	29.5%	—	—
		29	28.5%	—	—
		28	30.5%	29.6%	+1.3ポイント
	3期平均 23~27	35.0%	28.3%	△1.1ポイント	△6.7ポイント (80.9%)
	2期平均 20~22	39.0%	29.4%	△7.3ポイント	△9.6ポイント (75.4%)
	1期平均 17~19	—	36.7%	△3.8ポイント	—
	16(導入前)	—	40.5%	—	—
増減理由	前年度に比べて規模の大きい催事利用が増加したことによる増				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	各種アンケートの実施	催事者(34件), 来館者(53件), 自主催事(55件)
	ふくやま産業交流館 外部評価委員会	施設設置者, 利用者, 有識者で構成。(年2回)
	【主な意見】	【その対応状況】
	ウォッシュレットを増設してほしい。 LEDスクリーン吊り下げのためトラス(梁)を使用させてほしい。 一部の女子トイレが暗い。	従前からウォッシュレットを約半分は取り付けていたが, トイレ環境の向上のため, 全台に取り付けた。 利用料金の設定もなく本来貸し出す場所ではないが, 安全性を確認, 県に確認の上, 許可した。 県に改造申請を出した上で, LED照明を取り付けた。

4 県の業務点検等の状況

	項目	実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報(必要随時)	○	必要時に, 随時電話(及びメール)で報告
連絡会議 月1回, 計12回 (内現地連絡会議(年2回))	【指定管理者の意見】 「県民利用が想定される箇所の安全点検チェックシート」に基づき確認を行い県に提出。		
現地調査(随時)	【県の対応】 指定管理者からの報告等を受け安全性を確認した。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	4期	28	—	—		4期	28	130,866	14,578
県委託料 (決算額)	3期平均 23~27		—	△5,416	料金収入 (決算額)	3期平均 23~27		116,288	8,969
	2期平均 20~22		5,416	5,416		2期平均 20~22		107,319	△34,894
	1期平均 17~19		—	—		1期平均 17~19		142,213	1,478
	16 (導入前)		—	—		16 (導入前)		140,735	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	—	—	—	
		料金収入	130,866	110,494	20,372	利用料金制(※1) 規模の大きい催事利用の増
		その他収入	1,051	1,184	△133	自動販売機収入の減
		計(A)	131,917	111,678	20,239	
	支出	人件費	23,450	22,233	1,217	利用増による残業の増
		光熱水費	23,308	23,073	235	利用増による増
		設備等保守点検費	17,707	18,094	△387	外注費の見直しによる減
		清掃・警備費等	24,504	22,012	2,492	夜間利用増に伴う対応警備員の増
		施設維持修繕費	6,561	6,303	258	修繕の増
		事務局費	2,964	3,402	△438	経費削減による減
		その他	9,807	8,230	1,577	料金収入の増に伴う消費税の増
		計(B)	108,301	103,347	4,954	
	収支①(A-B)		23,616	8,331	15,285	
	自主事業 (※2)	収入(C)	483	314	169	協賛金, 出展料の増
		支出(D)	6,136	3,112	3,024	県の誘致事業への協力に伴う増
収支②(C-D)		△5,653	△2,798	△2,855		
合計収支(①+②)		17,963	5,533	12,430	(県への納付額 12,981 千円)	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の 効用 発揮	<p>施設の利用促進を図るため、自主催事「ビッグローズフェスタ」を年2回実施した。また、「うちわ」「クリアファイル」の作成・配布を行い、施設のPRに努めた。</p> <p>休館日利用のニーズに対応するため、臨時開館を行ったり、全館利用の利用者に対しピロティールを開放するなど、利用促進に努めた。</p> <p>これまでの顧客や新規顧客に対して営業活動を行ったほか、本社からの催事者紹介を受け、新規利用者を確保した。</p> <p>催事者、来館者からの声をアンケートで集約し、利用者目線による施設改善に引き続き努めた。</p> <p>デジタルサイネージの運用及び貸出を行い、利用状況をPRし、新規利用の促進を図った。</p> <p>樹木の維持管理、鳩対策、雨漏り等の修繕を実施した。</p>	<p>新規顧客の開拓や利用率向上のため、営業活動を行っており、利用率の向上につながった。</p> <p>施設の維持管理について、利用者に配慮し安全を確保した管理運営に取り組んでいる。</p>
管理の 人的 物的 基礎	<p>緊急案件や不測の事態にも迅速に対応するため責任者を常に配備する体制を確保した。</p> <p>今後南海トラフによる巨大地震の懸念があり、非常時訓練に地震を取り入れた。また必要最低限の非常食(36食)を購入し有事に備えた。</p> <p>電力自由化により電力会社を変更し経費圧縮に努めた。</p>	<p>管理運営の体制を整え、経費縮減には独自の工夫を加え積極的に取り組んでいる。</p>
総 括	<p>前年度に比べ売上、稼働率、来館者数全ての向上を達成した。</p>	<p>利用が前年度と比べて増加しているが、継続利用の促進や新規顧客の開拓に向けた取組を強化する必要がある。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○利用料確保に向け、引き続き、訪問活動及び顧客への声掛け活動など、営業活動強化による利用促進、稼働率確保を図る。 ○利用者の安全確保と施設の長寿命化を図るため、施設・設備の日々の点検強化や修繕を適切に実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣地区だけでなく山陰地方なども含めた営業活動強化による利用率向上に向けた取組が必要である。 ○利用者の安全確保を図りながら、修繕を実施していく必要がある。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の知名度が上がるように継続的にPR活動等に取り組んでいく。 ○建築後 17 年が経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいる。安全性に係る箇所については、県と連携をとり修繕を進める。 ○ISO (9001, 14001, 27001) に立脚した維持管理運営を行うとともに、有益な活動取組として、「蛍光灯リサイクル活動」を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○長期保全計画を基に、計画的な修繕を着実に実施していくとともに、指定管理者のアイデアを取り入れた施設環境の向上に取り組む。